

令和7年産 紀南の梅産地情報

2025/03/05

1. 今年産の梅の開花は、昨年11月下旬から気温が低く推移したため、主力の南高では、開花始めは2月27日、満開期は3月2日となり、前年・平年と比べかなり遅く過去10年で最も遅い開花始め・満開期となった。また、授粉樹でもある小梅との開花はほぼ揃った。



開花始め～満開期までの気温は高く推移したが、以降の天候は不安定な状況が続いている。今後の天候回復が期待される。

■ JA 紀南の梅の開花状況（平地標準調査地＝和歌山県田辺市中三栖）

品種 / 年	平年(H27~R6)	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	
小梅	開花始め	2/7	2/16	2/10	1/19	2/25
	満開期	2/16	3/1	2/15	1/29	2/28
	開花終期	2/29	3/14	3/1	2/19	
	開花期間	22日	27日	20日	32日	
古城	開花始め	2/16	3/1	2/17	2/7	3/1
	満開期	2/23	3/9	2/24	2/16	
	開花終期	3/7	3/16	3/12	2/27	
	開花期間	21日	16日	24日	21日	
南高	開花始め	2/6	2/14	2/11	1/20	2/27
	満開期	2/14	2/26	2/16	1/30	3/2
	開花終期	2/27	3/11	3/1	2/19	
	開花期間	21日	26日	19日	31日	
作柄		開花期後半 受粉環境良好 5月、6月低温 肥大熟期遅れ 平年作	開花期間短く 気象変動大 5月低温、6月 少雨肥大鈍る 平年作	早期開花・開 花期間長く 気象変動大 3月低温・降雪 凶作		

2. 1月17日の着蕾調査によると、1年枝100節当たりの平均着蕾数は、小梅は前年・平年並み、古城は前年より多く・平年並み、南高は前年よりやや多く・平年並みとなった。

■ 基準園の着蕾数（1年枝100節当たりの平均着蕾数）

品種 / 年	令和7年	令和6年	令和5年	前年比	平年比
小梅	90.6	83.3	83.4	109%	100%
古城	94.3	77.8	83.1	121%	106%
南高	58.2	51.2	55.8	114%	101%

3. 作柄は、開花から収穫期までの気象変化等により大きく左右されるため、現時点で具体的な予測はできない。